



「中央・総武緩行線ワンマン運転実施に伴う中野統括センターにおける乗務ユニットの統合について」提案を受ける(その③)

組合	会社
<ul style="list-style-type: none"> ● 現行の中野北乗務ユニットの建屋は何に使うのか ● 社員(管理者)が常駐するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 乗泊として利用する。ほかの階については決まっていない。 ● 他の階を何に利用するかによって変わってくる。
<ul style="list-style-type: none"> ● 施策実施に向けて間内改良や、詰所の廃止など設備面での変更はあるのか。 <p>検討段階にあるものも含めて教えてほしい。 時間がかかることは、組合に情報を示さない理由にはならない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 再度聞く。設備面で変更が発生する可能性があるものをすべて教えていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ロッカーや寝室の整備は発生するが、ほかについては詳細が決まっていない。 <p>時間がかかるため示せない。 情報を隠すつもりはない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ロッカー室の追加や執務スペースのレイアウト変更は中野北等からの異動者の規模によって発生する可能性がある。詰所については、津田沼駅、中野駅、三鷹駅、などで車掌が使っていた詰所や設備について改廃の可能性がある。中野北乗務ユニットを乗泊で利用するが、点呼方法については検討中である。

ワンマン運転の提案時に決まっていなかった、**東西線直通列車の車掌**について、内容が一部明らかになりました。

詳細な体制については決まり次第会社から示されます。法律で保障された労使議論ができるのは労働組合のみです。また、**乗務員勤務制度制定時における議事録確認**など、過去から**積み上げてきた労使の合意事項は東労組の組合員にのみ適用される貴重な財産**です。

JR東労組東京地本は、**労働協約や議事録確認を武器**に職場で働く組合員・社員のために会社と議論していきます！！